

宇都宮市
男女共同参画
情報誌

ぱーとなーしいづい



特集

それって愛情？

寄稿 認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ 理事長 中村 明美さん

2014

Vol.

29

こんなことはありませんか？

さて、このまんがを読んだ感想は
いかがでしたか？
日常、よくある普通の出来事でしょうか？

普通
じゃない？



なんだか、
怖いな…

傷つくことを言ったり、
行動を制限することも暴力になります。
このように恋人間で
起こる暴力のことを
「デートDV」
といいます。



夫婦や交際中の2人などの親密な関係にある、またはあった
男女間に起きる暴力を**DV(ドメスティック・バイオレンス)**といいます。
誰もが暴力の加害者にも被害者にもならないために、
自分には関係ないと思わずに、みんなでDVについて考えましょう。

DVは どんな態度や 行動のこと?

一般的に暴力というと「なぐる」「ける」のイメージが強いと思いますが、暴力は、それだけではありません。

なぜ、大切な人に暴力を振ってしまうのか…。本来、夫婦や交際中の2人の関係は対等で、上下や主従の関係はありませんが、DVをする人は、自分の思いどおりに相手を支配しようとして様々な暴力を使ってしまうのです。

精神的暴力

- 大声で怒鳴る
- 傷つくことを言う
- 物にあたるなどして怖がらせる
- 別れるなら「死ぬ」と言って脅す
- 何を言っても無視する
- 見くだす …など

身体的暴力

- なぐる、ける
- 押えつける
- 相手に物を投げつける
- 首を絞める
- 監禁する …など

社会的暴力

- 実家やきょうだい、友達とのつきあいを制限する
- メールや電話の履歴をチェックする
- メールアドレスを消去する
- 外出させない …など



チェック

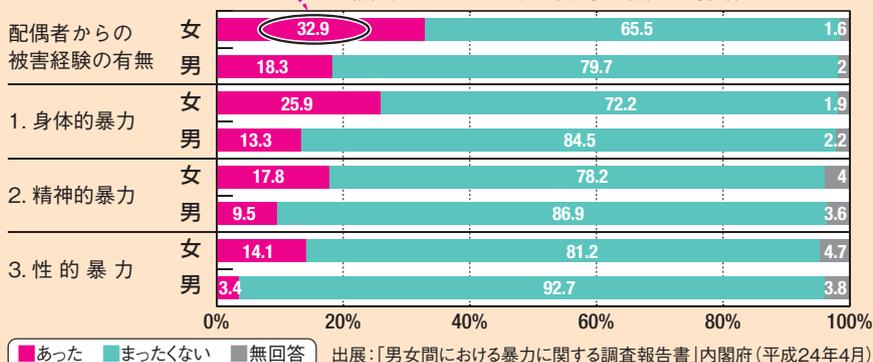
男性が被害者になるケースもありますが、圧倒的に女性が多く、**約3人に1人**が下記の暴力を1回でも受けたことがある、と回答しています。



経済的暴力

- お金を要求する、取り上げる
- 生活費を渡さない
- 仕事やアルバイトをさせる、辞めさせる …など

配偶者からの被害経験の有無



性的暴力

- 見たくないのに性的な画像などを見せる
- 性的な表現や行為を強要する
- 避妊に協力しない …など

寄稿

DV被害支援者の立場から

認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ

理事長 中村 明美

Profile [プロフィール]

フェミニストカウンセリング・アドヴォケイター
(DV被害者の相談・支援を担う資格)
平成8年にウイメンズハウスとちぎを立ち上げる。
全国女性シェルターネットワーク理事、内閣府
DV研修事業講師、県内のDV基本計
画策定委員や男女共同参画審議会委員など活躍中。

変わる社会

20年間のDV被害者の支援の中で、DVに対する社会の捉え方が変わってきました。身体的DVは犯罪だと認知され、法的手段で守られるものだということが浸透してきたように見えます。かつてのように、警察に飛び込んでも「法は家庭に入らず」「夫婦間で話し合って解決すべきこと」という対応はなくなりました。

どんな暴力が増えているの？

DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律)ができてから、夫からの目に見える暴力だけではなく、精神的な暴力の

相談が目立つようになりました。例えば、頭痛や動悸が激しく、「心療内科に行ったら、夫の精神的な暴力によるストレスと診断された。」というような相談者が増えていきます。経済的な締めつけや生活を監視するなどの行為で妻が苦しんでいるという例もあります。

暴力に気付かない…

精神的な暴力を与えている人は、それが暴力である、という意識がありません。また、被害者は苦しんでいます、それが精神的な暴力のため、DVだと気付いていないことも多く、解決に時間がかかってしまうことがあります。外から見える傷がなく、第三者にDVだとわかってもらえることが難しいのです。痛みがないのだから、我慢できるはずだと思われてしまいがちです。

重大な被害が…

精神的な暴力に長い期間さらされていると、心に深い傷を負います。この傷は周囲の人に理解してもらえなかつたり、自分でもうまく説明で

きないことから自分が悪いのではないかと思ってしまうことがあります。このような精神的な暴力の中には身体的暴力よりも重篤な被害を負ってしまうものもあります。



暴力を振るうのはどんな人？

どんな人が加害者になるのかというと、パートナーに対して暴力をふるう以外は「ふつうの人」です。むしろ、家庭の外では人あたりが良く、社会的信用もある、社会人として一般的な人であるケースが多いのです。

どんな支援をしているの？

民間の支援は、なぜそのようなことが起きているのかを話し合い、被害者に長い期間寄り添っていきます。DV被害者の心の傷の回復にはDVをよく知っている人に囲まれている安心感が大切です。地域社会にどれだけDVを正しく理解している人がいるかが、DV被害者にとって地域が生きやすいかどうかのカギとなるでしょう。

DVを
断ち切る
ために

私たちができること



DVは、一人で悩んでいても、解決しません。その悩みに周囲の人が気付くことが大切です。そして、他人事ではなく、自分や身近な人に起こり得る問題として認識し、社会全体で解決すべき問題の一つなのです。

● DVに気付いたら

①身の安全を確保する。
安全かどうかを最初に確認します。

↓ポイント

生命に関わるような暴力を受けている場合など、緊急時は迷わず110番通報！

②被害者の話を聞く。

DVの苦しみを話すのは勇気のある行為ですので、絶対に被害者を否定しないで時間をかけてゆっくり話を聞いてあげてください。

適切な対応

被害者の話に共感します。

「つらかったですよね」

「よく話してくれたね」

自責感をやわらげます。

「あなたは悪くないよ」

「暴力は許されないよ」

不適切な対応

被害者を責めてはいけません。

「あなたにも悪いところがあつたんじゃないの」

暴力を肯定してはいけません

「夫婦なんだから、暴力も仕方ないですよ」

↓ポイント

最終目的は、被害者が自分で解決するための行動を決めていけるようにすることです。

③関係機関へ相談する。

当事者間で解決するのは難しいことから、関係機関に相談してください。また、相談機関の連絡先等、必要な情報を届けてあげてください。

↓ポイント

情報を提供する時は加害者に知られないよう、紙片で渡すなど、目につきにくい方法で行います。



被害者の情報管理には、細心の注意を払ってください。加害者やその関係者に情報が知られることで被害者の安全が脅かされることもあります。

↓ポイント

聞いたことは、相手が被害者の親族や友人であっても被害者に無断で口外してはいけません。

●もし、あなたが被害者だったら

暴力を繰り返し受けていると、自分に自信が持てなくなり、相手が暴力を振るうのは、自分が悪いせいだと感じたり、自分が被害にあっていることを自覚できなくなっている場合があります。まずは、自分は悪くない。そして、受けている行為は暴力であることを理解してください。そして、相談機関への相談をお願いします。

◎相談機関については、次ページをご覧ください。

チェック

被害を受けた女性の半数以上は、「友人・知人」に相談しています。*

身近にいる人がDVの正しい知識を持つことがとても大切です。

※「平成23年度男女共同参画に関する市民意識調査」宇都宮市



市の取組

DV根絶に向けて



配偶者からの暴力 検索

市では、DVの根絶に向け、これまでの取組を着実に推進するとともに、配偶者からの暴力の未然防止や相談から自立に向けた施策を総合的・一体的に取り組むため、「第2次宇都宮市配偶者からの暴力対策基本計画」を策定しました。

目標

「過去2年間に配偶者や恋人から暴力を受けたことのある女性の割合」を0%に近づけます。

この大きな目標を達成するために次の3つの柱を掲げ、さまざまな事業等に取り組み、DVの根絶を目指します。

- I DVを許さない社会づくり
- II 相談から自立に向けた切れ目のない支援体制の充実
- III 推進体制の充実

計画の推進にあたっては、これまで以上に関係機関や団体等との連携を強化していきますが、DVの根絶には、全市一体となって取り組む必要があるため、市民の皆さんもご協力をお願いいたします。

計画の概要については、市のホームページ等をご覧ください。

うつつのみや DV防止根絶強化月間

市では、「女性に対する暴力撤廃国際日(11月25日)」および国の「女性に対する暴力をなくす運動(11月12～25日)」が実施される11月を「うつつのみやDV根絶強化月間」と定め、DV防止や女性の人権尊重の啓発に取り組むため、講演会の開催やパネルの展示等を実施しています。

「パープルリボンプロジェクト」とは

DV、個人間の暴力や虐待の撲滅、防止を目指す国際的な女性に対する暴力根絶運動です。どこでも・誰でも・一人でも始められる運動です。



最後に…

配偶者や恋人からの暴力がなくなり、男女の人権が尊重され、誰もが生き生きと暮らせる社会の実現を目指していきましょう。

困ったときは、相談してください。あなたはひとりじゃないですよ。



平成
26年度

男女共同参画社会づくり標語・ 4コマまんがコンクール入賞作品

標語

最優秀賞

宇都宮市立陽北中学校2年

なが はま
長濱

あか ね
朱音 さん

女性ならあたり前 男性ならあたり前

それって本当にあたり前？

4コマ
まんが

最優秀賞

作新学院高等学校2年

おし の まほ
押野 真穂 さん



宇都宮市では、性別にかかわらず、誰もが自分らしく、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画について理解を深めてもらうため、市内中学1・2年生を対象に標語コンクール、市民の皆さんを対象に4コマまんがコンクールを実施しました。

厳正なる審査の結果、標語16作品(最優秀賞1点・優秀賞5点・努力賞10点)、4コマまんが11作品(最優秀賞1点・優秀賞3点・努力賞7点)が入賞しました。



ぱーとなーしゅぷ Vol.29 【2014年10月】

編集
発行

宇都宮市 市民まちづくり部
男女共同参画課
男女共同参画推進センター

住所:〒320-0845 宇都宮市明保野町7番1号
TEL:028(636)4075 FAX:028(636)4079
E-mail: u18100201@city.utsunomiya.tochigi.jp

「ぱーとなーしゅぷ」についての

» ご意見・感想、身近な男女共同参画の取組などの情報をお待ちしています。

応募数

標語23校2,678作品・4コマまんが92作品

Sunshine 輝く女性

宇都宮市河内地区連合自治会長 川上幸子氏(58)
Sachiko Kawakami



「女性は即実行！女性のパワーを活かして
男性と一緒ががんばりましょう！」

Profile

- 平成21年度
河内地区連合自治会(全51自治会)副会長 就任
- 平成23年度
河内地区連合自治会長 就任 現在に至る
- 労災ホームヘルパー、介護アテンドサービス士、
ヘルパー2級
- 家族
夫、長男、長女(孫2人)、次女(孫3人)、猫(8匹)

本市では、男女共同参画社会の推進に向けて、さまざまな分野で女性のチャレンジを応援しています。今回は、本市で初の地区連合自治会長として活躍している川上さんから元気なメッセージをお届けします！

Q1 会長になったきっかけと、やりがいを感じることは？

A きっかけは周りの推薦。「川上さんが会長ならサポートする」と言ってくれました。役員さんに恵まれています。やりがいは、自分の企画が通ること。他地域広報誌などのアイデアを参考にしたりしながら、ひらめいたら即実行！例として、地区の活性化と、特産を活かし、「さぎ草汁」や「ごぼう汁」を提案し、イベントなどで出店しています。

Q2 会長は大変な仕事と思いますが、支えになってくれるものは？

A 会長になったばかりの頃は、冷蔵庫にカレンダーを貼り「あと〇日で任期満了」と毎日カウントダウンしていました。しかし、いつの間にか会長としての仕事に夢中になり、消さなくなっていました。多くの皆さんと共に分かち合い、ひとりで抱え込まず、みんなで解決してきました。何より市の担当者に女性がいたことで、本音で語れたことが強みですね。どんな場面においても、ウーマンパワーは必要です。

Q3 家庭と自治会の仕事との両立はどのように工夫していますか？

A 役職の兼務が多くなり、常に責任を背負っています。会議があると夕食づくりの時間が忙しくて大変ですが、料理が大好きなので、レシピをアレンジしたりして、家族の食事作りも手を抜かず、家事も両立しています！

Q4 女性が活躍していくにはどうしたらいいですか？

A とにかく何でもトライして、自ら積極的に行動する。もっともっと多くの女性に活躍・進出してもらいたいです！そのために気軽に参加しやすく負担にならない居場所づくりなど女性が好きな楽しい会を企画しています。男性と女性が手と手を取り合い、サポートし合うことが大切だと思います。

地域のために奔走しながらも家事も手を抜かない、笑顔が素敵な川上さん。何事も自然体で、柔らかな語り。しかし、内には熱意と強じんさで満ち溢れていました。そのアクティブさとアイデアの豊富さをもって、ますますご活躍ください！ありがとうございました。

